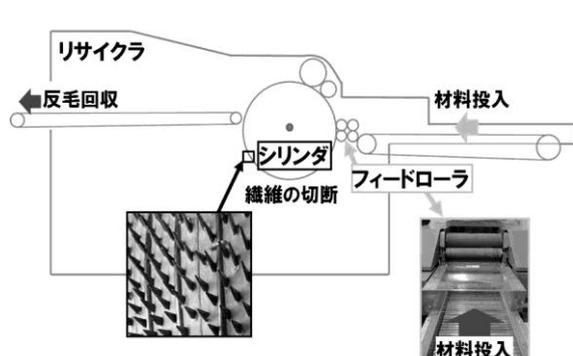


# 防護服のリサイクル技術

防護服に使用されている不織布を一度ワタ状に戻すことでリサイクル材とし、再度不織布にリサイクルする技術を開発しました。

## 本技術の内容・特徴



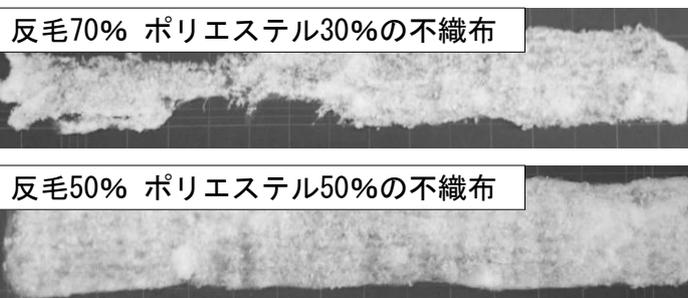
①リサイクラによる反毛



③ニードルパンチ機を用いて不織布化



②ローラーカード機によるウェブの作製



ポリエステル繊維を混合（ポリエステル50%以上）することで、連続した不織布化が可能。

### 従来技術に比べての優位性

- ①不織布衣類を不織布に再生する技術を開発
- ②ポリエステル繊維を混合することにより、切れ目のない連続した不織布を形成。緩衝材や断熱材などに応用可能

### 予想される効果・応用分野

- ①使用期限切れで未使用のまま廃棄されていた防護服を不織布化し、他の用途に再生可能
- ②不織布は、緩衝材や断熱材などに応用可能

### 提供できる支援方法

- ▶ 共同研究
- ▶ 依頼試験・機器利用（試作加工）
- ▶ オーダーメイド開発支援（技術活用）

### 知財関連の状況、文献・資料

#### ▶ 文献資料

- [1]長尾 他, 都産技研研究報告, No. 9, p. 46-49 (2014)  
<http://www.iri-tokyo.jp/joho/kohoshi/houkoku/h26/documents/r2612.pdf>
- [2]長尾 他, 平成26年度都産技研研究成果発表会要旨集, p. 16  
[http://www.iri-tokyo.jp/joho/seika/h26\\_youshi/documents/kankyo1\\_10.pdf](http://www.iri-tokyo.jp/joho/seika/h26_youshi/documents/kankyo1_10.pdf)

多摩テクノプラザ 繊維・化学グループ  
長尾 梨紗

Tel : 045-500-2300  
E-mail : nagao.risa@iri-tokyo.jp